

令和4年度の重点課題

- 男女合わせた総合評価Aの割合を40%以上にする。
- 男子の総合評価D以下を0%にする。
- 全ての種目において、県平均値かつ全国平均値以上にする。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○走力や瞬発力、柔軟性を高めるために、火曜日・金曜日の体づくり朝会で、短距離走・リズムダンスを取り入れた。

○体育の授業に行うサーキットトレーニングにも同様の運動を各学年に応じて取り入れた。サーキットトレーニングのメニューには次の運動を取り入れた。

- ①「立ち幅とび」(筋パワー)を高めるために、体育館の壁面に高さの異なるラインを設け、自分の能力に応じジャンプできるような運動。
- ②体育館で、新聞紙を丸めた物を用意し、高く遠くに投げられるような運動。
- ③手を前に伸ばし、掌をグー、パーにする運動を繰り返す運動。

○体育では、個人目標を設定し、達成するよう声掛けしたりスモールステップで評価し、達成感を感じさせる授業を行う。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.40	19.40	36.60	41.80	40.60	9.46	145.90	20.20	53.30	第5学年	19.00	20.20	39.80	45.20	48.80	9.24	149.80	18.40	61.40

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.40	19.40	36.60	41.80	40.60	9.46	145.90	20.20	53.30	第5学年	19.00	20.20	39.80	45.20	48.80	9.24	149.80	18.40	61.40

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	30.00	60.00	0.00	10.00	第5学年	60.00	40.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

- 女子は全員、運動に対して肯定的な評価をしており、過半数が「好き」と回答している。
- 男子は、肯定的評価は多いが、「好き」と回答している割合は30%と少な

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 毎時間の学習課題を明確にし、個々に到達可能な目標をもたせ、その目標に向けて運動量を増やす工夫を行い、成果や課題について個々に声掛けをする。
- 授業の導入で、サーキットトレーニングを取り入れ、全体的な体力向上を図る。
- 運動することが楽しいと思わせるように、単に競争させるのではなく、ゲーム的な要素や協働的な活動を取り入れ、少しでもできるようになったことを評価し、達成感を味わわせる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 学級遊びの時間を設定するなどして、外遊びを奨励する。また、体づくり朝会で、走る・跳ぶなどの基本的な動きに加え、リズムダンスや縄跳び・ボール運動などの用具を用いた運動を行い、体のいろいろな部位の筋力強化や柔軟性、持久力、調整力の向上を図る。
- 養護教諭、栄養教諭と連携し、バランスの良い食事をするのが大切であるといったような食教育を進める。また、学校だよりや保健だよりで児童の実態や課題を掲載し、全体的に理解を促すことや、個人懇談等で直接保護者へ働きかけ、個に応じた改善策を図っていく。

重点課題

○男子において、「走る」「跳ぶ」「投げる」などの体全体を動かすような動作と瞬発力に課題がある。

○男子の中に肥満もしくは肥満傾向の児童や偏食など、食生活に課題をもつ児童がおり、運動習慣や食生活で個に応じた指導の必要がある。

令和6年度の重点目標値

- 男女合わせた総合評価AB率の割合を65%以上にする。
- 男子の総合評価D以下を0%にする。
- 全ての種目において、県平均値かつ全国平均値以上にする。